

移動等円滑化取組計画書

2020年6月25日

住 所 大阪市福島区海老江一丁目1番24号  
事業者名 阪神電気鉄道株式会社  
代表者名（役職名及び氏名） 代表取締役・社長 秦 雅夫

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律第9条の4の規定に基づき、次のとおり提出します。

I 現状の課題及び中期的な対応方針

(1) 旅客施設及び車両等の整備に関する事項

①旅客施設の整備に関する事項

バリアフリー法に基づく駅の段差解消に関して、2020年6月時点では全49駅中、1日当たりの平均的な利用者数が3,000人以上の駅は46駅あり、その内45駅で整備を完了している。

未整備駅である大開駅は2021年度末の整備を見込んでいる。

②車両の整備に関する事項

現在、本線普通車両の一部（32両）は、新造竣工後40年を経過しており、移動等円滑化が十分になされていないことから、今後数年かけて全車両を新型車両に置き換える計画である。また、同じく新造竣工後40年以上経過している武庫川線車両（8両）については2020年度に全車両、車齢20年程度の車両を改造して移動等円滑化対応を推進する。

(2) 旅客支援、情報提供、教育訓練等に関する事項

①旅客支援等に関する事項

・視覚障害者誘導案内用設備として、音声・音響による案内設備を改札口、プラットフォーム、トイレ、触知案内板に設置している。当社が管理する49駅中の43駅で整備しているが、今後はバリアフリー化工事等にあわせて、未整備となっている駅への整備を進めるとともに、整備済みの43駅においても駅改良工事等にあわせて音響案内から音声案内への変更を図り、視覚障害者への誘導案内を充実させる。

②旅客支援、教育訓練等に関する事項

運輸現業（乗務員・駅係員・助役）においては、サービス介助士の資格を取得している。（取得率：100％）

新入社員については、本年11月頃までに順次取得予定（昨年実績）

II 移動等円滑化に関する措置

① 旅客施設及び車両等を公共交通移動等円滑化基準に適合させるために必要な措置

対象となる旅客施設及び車両等	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
大開駅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上り線ホームとコンコースを結ぶエレベーターを1基設置する。(2021年度予定)</li> <li>・下り線ホームとコンコースを結ぶエレベーターを1基設置する。(2021年度予定)</li> <li>・コンコースと地上を結ぶエレベーターを1基設置する。(2021年度予定)</li> <li>・多機能トイレを1箇所設置する。(2020年度予定)</li> </ul>
大阪梅田駅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可動式ホーム柵を1番ホームへ導入する。(2021年度予定)</li> <li>・可動式ホーム柵を2番ホームへ導入する。(2022年度予定)</li> <li>・可動式ホーム柵を3番・4番ホームへ導入する。(2023年度予定)</li> </ul>
神戸三宮駅	<ul style="list-style-type: none"> <li>・可動式ホーム柵を1番・3番ホームへ導入する。(2020年度予定)</li> <li>・可動式ホーム柵を2番ホームへ導入する。(2021年度予定)</li> </ul>
(A)5001形車両(本線)	<p>(A)新型車両5700系に置き換える。(2020～2023年度予定)            内容：車いすスペース、扉開閉予告ブザー、誘導鈴、車内案内表示器（3ヶ所/両）など</p>
(B)7861-7961形、 7890-7990形車両 (武庫川線)	<p>(B)5500系車両を改造して置換え（2020年度）            内容：車いすスペース（1ヶ所/両）            (2両編成内に1ヶ所車いすスペース既設、本改造では1ヶ所/編成を増設する)            ・誘導鈴新設</p>

- ② 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる乗降についての介助、旅客施設における誘導その他の支援

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)

- ③ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる情報の提供

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
ホームページ及び案内表示器の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページでの情報提供のきめ細やかな更新、ホーム及びコンコースにおける案内表示器での情報提供。</li> </ul>
駅構内での自動音声案内の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大開駅のバリアフリー化工事にあわせて、音声・音響による案内設備を整備する。(2020～2021年度予定)</li> <li>・大阪梅田駅の改良工事にあわせて、改札口や触知案内板の案内を音響案内から音声案内によるものに改良する。(2019～2023年度予定)</li> </ul>
車内案内表示器によるリアルタイムなバリアフリー情報等の提供	<p>新型車両 5700 系 (2020～2023 年度)、5500 系リニューアル工事 (2020～2023 年) において下記を実施予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・車両の乗降口上部に視認性の高いフルハイビジョンに対応した車内案内表示器を設置 (3 か所/両)。</li> <li>・行き先・列車種別の運行情報の他、次の停車駅のバリアフリー情報を提供。</li> <li>・自社線内の運休、遅延、振替輸送情報を提供。</li> </ul>

④ 移動等円滑化を図るために必要な教育訓練

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
業務研究会	・毎年、各種運動期間に業務研究会を開催しており、その機会を捉え接遇教育を行っている。
障害者の接遇に関する民間資格の取得促進	・運輸現業社員のサービス介助士資格習得を推進する(取得費用については会社負担)。

III 移動等円滑化の促進のためIIと併せて講ずべき措置

<p>・声かけ、見守り運動を実施しているが、他のお客様にもご協力していただけるように適宜自動放送等で協力依頼を行っている。</p>
---

IV 前年度計画書からの変更内容

対象となる旅客施設及び車両等又は対策	変 更 内 容	理 由
大開駅	多機能トイレの設置時期を2021年度から2020年度に変更する。	工程調整の結果2020年度内での整備が可能となったため。
大阪梅田駅	可動式ホーム柵の設置時期の変更 当初計画：2020年～2022年整備 変更計画：2021年～2023年整備	2020年度の補助が採択不可であったこと、及び新型コロナウイルス感染拡大の影響により、工程を変更し、整備時期を2021～2023年度に変更予定。
7861-7961形、 7890-7990形車両 (武庫川線)	2019年度に5500系車両8両を改造竣工する計画であったが、4両は2020年度竣工に変更	工期変更

## V その他計画に関連する事項

--

注1 IVには、IIについて前年度と比較して記入すること。なお、該当する対策が複数になる場合には、新たに欄を設けて記入すること。

2 Vには、IIの欄に記入した計画に関連する計画（事業者全体に関連するプロジェクト、経営計画等）がある場合には、必要に応じ、その計画内容及び計画における当該事業者の位置付け等について記入すること。